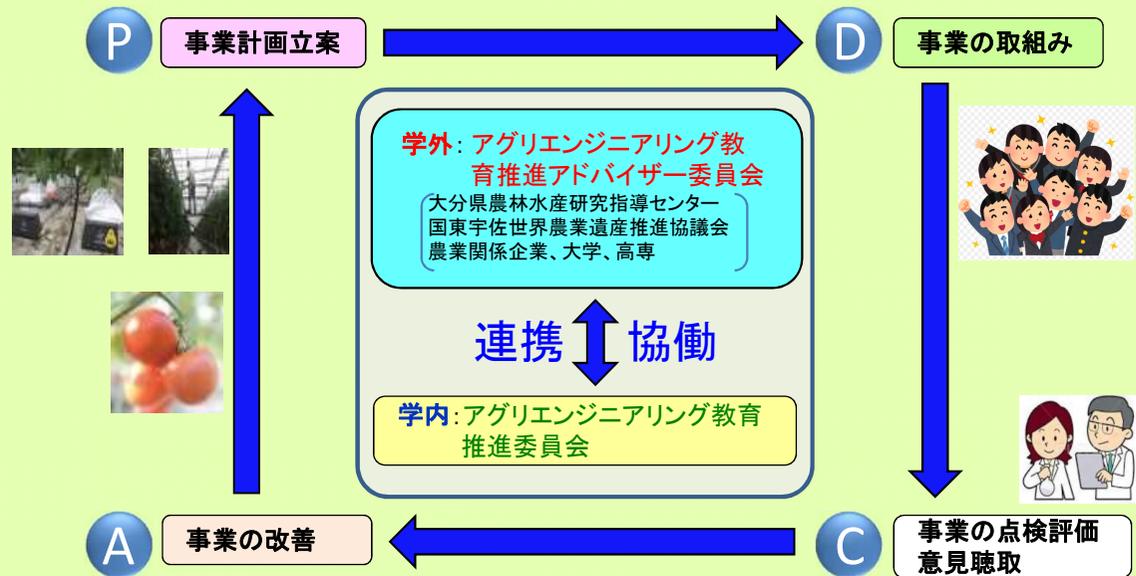


工業高専の専門教育を保持しつつ実行可能な「アグリエンジニアリング教育（研究）の導入」を図る。農学・農業に主体を置いた新規導入科目の検討，既存の専門科目における農学関連の実験・実習の導入をする。また，その取り組みの成果を全国高専に展開するための，授業配信・e-learningシステム・コンテンツを構築する。

【実施体制】



【工程表】

項目	H29年 8月 ~9月	10月	11月 ~12月	H30年 1月 ~2月	3月	4月	5月 ~12月	H31年 1月 ~2月	3月
「外部委員」によるアドバイザー委員会を立ち上げ，実施内容の承認	←								←
「テキスト開発」，「授業配信・e-learningシステム・コンテンツ作成等」，「見学・実習先」の整備		→							
「授業の開講」ならびに「教材改良，設備整備」の継続		→							
「実施担当者および受講生へのアンケート」，全国高専への導入に向けた「必要経費の縮減策」の検討									←
事業のチェックと改善，農工連携教育推進シンポジウム等の開催									←

	現在値 (平成28年度)	目標値 (30年度)
「アグリエンジニアリング（AE）教育プログラム」の構築	未構築	教育プログラムの構築 (学生負担にも配慮)
プログラム修了生に「プログラム修了証」を発行	0名	「アグリエンジニアリング（AE）教育プログラム」の履修者全員
農学および農業関連の研究分野における外部資金獲得者	0名	3名以上

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

【地域への貢献】 事業期間中に農工連携授業を開始する。履修学生には「プログラム修了証」を発行し，学生の就職先企業に認知される方策を取り，地域農業の発展を図る。

【新産業を牽引する人材育成】 授業配信・e-learningシステムを活用して農学の素養を持った工学技術者が全国の高専で輩出可能な仕組みを構築し，農業に関連した新産業を牽引する人材育成をする。